

第41回成沢ふれあい夏祭り



発行 成沢学区
コミュニティ
推進会
「ふれあい」
責任者 矢吹 昭
発行者 広 部

模擬店・盆踊り・抽選会
沖縄芸能も満喫！

令和7年7月26日（土）、
成沢学区コミュニティ推進
会「ふれあい」主催の「夏祭
り」が成沢小学校校庭で開催
され、800 人余りが参加しま
した。

今年 は 41 回目 の 開催 と な
り、連日の猛暑の中、実行委
員会の主導の下、多くの方々
の協力で会場の設営や運営
の準備が進められました。

時刻4時に「ふれあい」矢
吹会長の挨拶で開会しまし
た。早々に模擬店が賑わいを
見せ、イベントの前半では
「沖縄歌三線&琉球舞踊」で
始まり、子どもみこしやビン
ゴゲーム、後半はメイソンの盆
踊りと抽選会がにぎやかに
行われました。

子ども囃子と盆踊り唄に
誘われて、踊りの輪には多く
の老若男女、家族連れが加わ
って盛り上がりを見せまし
た。抽選会では番号が読み上
げられるたび大きな歓声に
包まれました。
予定通り午後8時に終宴
となりました。
（詳細記事は2面へ）



ドッジボール大会

成沢学子連

7月12日（土）、成沢小体育
館で子ども会育成連合会主催
のドッジボール大会が開催さ
れました。
今年は児童数の減少などの
影響もあり、男子2チーム、
女子1チームの参加となった
ため、中学生、成沢おや
じ、お母さんの3チームが加
わり、児童と大人の2部制
で行われました。中学生選
手は初めて試合のスタツフ
としても活躍しました。
2回戦総当たりのリーグ
戦で熱戦が繰り広げられ、
児童の部は「男子つばさ」、
大人の部は「成沢っ子中学
生」が優勝しました。

鮎川探勝会 青少年育成推進会

7月19日（土）、成子連との共催で「鮎
川探勝会」が実施され、児童32名、保護
者・スタツフ44名の大勢が参加しました。
常磐緑付近から川に入り、大学橋下の
小豆洗不動尊まで、足を取られたり腰ま
で水に浸かったりと、ハズニダに遭い
ながらも全員が無事に完



歩しました。カニやハゼ
、カワエビなどの川魚が
たくさん取れてみんな大
喜び。交流センターに戻
って、昼食を食べた後
解散となりました。

沖縄芸能・盆踊り・模擬店・抽選会！

安部副実行委員長の司会で「成沢ふれあい」矢吹会長の挨拶から祭りがスタートしました。

青少年育成推進会や親子連などの模擬店コーナーでは早々に家族連れなどが列を連ね、そばやホットドッグ、かき氷などを求め、的当てゲームや成沢小コーナーのジャンケンゲームなども人気を集めていました。

模擬店やステージ広場の横には休憩所が設けられ、賑やかに飲食や談笑を楽しんでいました。

今年のステージイベントは「沖縄歌三線&琉球舞踊」で、独特の衣装と音楽、踊りに多くの観衆は魅了されました。

昨年から人気の「ピンギダーム」も多くの参加者で盛り上がり、続く子どもみこしでは大きな掛け声と共に、写真撮る家族とのふれあいが見られました。

後半はいよいよ、目玉の盆踊りが行われ、先導者に従い、老若男女が和やかに踊りの輪に加わり、一周、二周と続きました。



会長挨拶でスタート

盆踊りの後は、いよいよお楽しみみの抽選会！

番号が読み上がるたびに大きな歓声が上がり、盛り上がりは最高潮に達しました。



会場入りの口で受付



金魚すくいの超人気！



琉球舞踊の演舞



人気のウィーンアート



模擬店はすべに人だかりが



沖縄歌三線の演奏



見事な子どもお隣子の披露



元気に子どもみこし



盆踊りのスタート



隣子と歌謡で踊りを盛の上げ



最後を飾った抽選会



ピンギゲームで大盛り上がり



会場設営に大活躍の日専校生

eスポーツ体験会を開催

7月22日(火)午後、成沢交流センターで茨城県社会福祉協議会が紹介するeスポーツ体験会が行われました。

eスポーツとは、ゲーム機を使って対戦するメンタルスポーツです！頭を使う競技で交流しながら幸せホルモンが出て健康寿命を伸ばせる効果があるとされています。

生涯学習部と成沢社協など30名の参加者は実機3台を使って、リズムゲーム「太鼓の達人」、アクションパズル「ぷよぷよ」、首都高速カーレース「グランジースモ」を実験しました。

ヘルル説明の後、参加者はすぐに慣れて点

埼玉路へ日帰り研修 成沢文化協会



今年は『近代日本経済の父』
渋沢栄一翁の足跡をたどる旅となりしました。7月11日(金)、43名は観光バスで深谷市へ。最初に訪れた渋沢栄一記念館では、倒幕運動に身を投じた青年時代から、幕臣、そして明治政府の官僚、さらには民間での活躍ぶりまで、波乱に満ちた生涯を学びました。

生家の旧渋沢邸ではアンドロイドの栄一翁から血洗島での仲間との思い出語りを聴きました。道の駅でのランチは煮ばうとうや深谷牛ハンバーグなどに舌鼓を打ち、深谷ねぎなど地元特産品を買い、ピュゴやカラオケでにぎやかな帰途となりました。

地域の話題

堂平健康フジオ体操に「ひたち元氣フジ賞」

堂平健康フジオ体操は1年間で330日、毎朝実施され、今年で10周年。延べ参加人数は5万人を超え、市の「元氣フジ賞最優秀賞」を受賞しました。

前後のウォーキングや年始会、花壇の整備など活動の輪も広がっています。昨年、フジオ体操などの諸活動をもとめて「堂平フジニアクラブ」が発足しました。



「太鼓の達人」 刘抗戰



県社協による競技説明



87歳の今も油絵を楽しむ、自然体で暮らす勇さん。傍にはいつも支えてくれる奥様がいます。「特別なことはしていません。ただ好き嫌いです、散歩話しますが、その生活には健康長寿の秘訣が詰まっています。」

大阪生まれの大分育ち、高校電気科卒業後に日立製作所に入社。産業用モーターの検査や大阪営業所での技術サービスを担当し、電検2種の資格も取得。郷里の女性と結婚し二女に恵まれました。35歳で青葉台に新居を構え、42歳からは日立工業専修学校の教諭に転じ、絵画クラブの指導をきっかけに油絵に親しみました。

60歳で定年後は仲間と「トシカチの会」を立ち上げ、一人暮らし高齢者宅を訪ねて網戸張替えなどのボランティア活動を行いました。

お元氣さん紹介⑩ 西成沢町 廣田 勇さん 夫婦で歩む自然体の人生

ティアを15年続けました。油絵は市展などに多数出品し、市長賞や都知事賞を受賞しました。奥様と協力して建てたアトリエで、静物や風景、人物、抽象画まで幅広く描いています。

「夫婦共通の楽しみは旅行。国内は車で60回以上、海外は15か国を巡りました。イタリアやトルコ、エジプトなど異国での思い出を語る表情は生き生きしています。毎朝のフジオ体操とタラの散歩、三度の食事は野菜や魚を中心に奥様の手料理、そして欠かさぬヨガのトリップینگ。」「普通のこと」と言う積み重ねの日々が健康やかな身体を支えています。



夏休み子ども講座 思い出作りに挑戦！

生涯学習部

物作り教室
「万華鏡を作って遊ぼう」
茨大工学部の皆さん

工作教室
「手づくりおもちゃを作る」
市民教養 斎藤直子先生

絵画教室
「自由に絵を描こう」
平田清彦先生

成沢交流センターで8月1日、生涯学習部主催で「物作り教室」が開催されました。参加者は11名。茨城大学工学部技術部の金澤浩明先生の指導の下、今回はワンド（杖）万華鏡を作りました。普段、我々が見慣れている万華鏡とは違って、粘度のある液体中をビーズが落ちていく時に、いろいろな模様ができる、面白い万華鏡でした。小さい子どもたちは先生方の個別指導もあり、最後には全員が完成しました。楽し

7月28日の工作教室「手づくりおもちゃを作ろう」には10名が参加しました。市民教授として交流センターや各施設で講座を開いている斎藤直子先生の指導で、牛乳パックを使って、「キューブパスル」と「箱カメラ」の2種類の手づくりおもちゃを作りました。絵を入れたり、実際に操作して遊んだりしてみ

絵画教室が7月29日（火）午後、成沢交流センターで開催しました。小学1年生から5年生までの9名が参加し、平田清志先生（西成沢在住）の丁寧な個別指導を受けながら保護者4名とともに3時間で夏休みの課題に挑戦しました。思い思いのテーマで、交通安全のポスターや自由画を水彩絵の具やホスターカラ1、水彩色鉛筆などの画材を用いて工夫、熱中して描いている姿はまさに小画伯です。

友達と取り組んだこの時間には良い思い出になることでしょう。

【10、11月の予定】

◆防災訓練

- ・日時 10月5日（日）
- ・場所 成沢小学校庭
- ・集合 9時30分まで（参加できる方）

・内容

煙道体験・初期消火・応急救護・心肺蘇生訓練等

◆文化祭

- ・文化公演会（11月8日）
- ・林家まる子「親子漫才」
- ・文化祭（11月9日）
- 作品展示、発表会、模擬店

詳しくはチラシを！

■編集後記

◆例年になく猛暑が続きました。そんな中で行われた「夏祭り」では多くの参加で盛り上がりました。猛暑の甲子園での高校野球の熱戦も記憶に残ります。◆ふれあいの次の行事は文化祭です。公演会を始め作品展示や発表など、地域の皆さんの活動の成果を楽しみに交流を図りましょう。◆まだ、しばらくは残暑が続きます。どうぞご自愛ください。

③サイダーゼリー
の3品でした。
6組の参加と多人数
だったこともあり、
慣れない包丁にも挑
戦しながら、和気あ
いあい楽しく調理、
完成後はみんなで試
食し終了しました。



8月3日（土）、成沢交流センターで夏休み食育教室が開催され、児童7名、保護者6名が参加しました。初めに栄養素と食材に関するクイズと解説があり、その後、今日のメニューについて説明がありました。次いで、食改推進員の指導を受け、3グループに分かれ調理を開始しました。

夏休み食育教室「親子で料理」 食改Gr